

ADVOCATE

Japanese Society of Health Promotion : JSHP

日本ヘルスプロモーション学会公式ホームページ <http://www.jsph.net/>

7

第7号

日本ヘルスプロモーション学会
2005年7月1日発行
発行者 島内憲夫
編集者 吉岡康

学会事務局
〒270-1695
千葉県印旛郡印旛村
平賀学園台 1-1
0476-98-1118 (tel/fax)
jimukyoku@jsph.net

* advocate「アドボケート」とは、ヘルスプロモーションに関するオタク憲章の中に書かれている3つのプロセスの第一番目「唱道」のことで、

巻頭言

ヘルスプロモーションとまちづくり
健康なまちづくりへの取り組み

常任理事 笠井 喜久雄（千葉県白井市役所）



私のヘルスプロモーションとの出会いは、平成7年にヘルスプロモーションの伝道師である島内憲夫氏(現日本ヘルスプロモーション学会会長)を招き、「健康なまちづくり」と題して、講演会を開催した時からであります。

以来10年余り、行政マンとしてヘルスプロモーションの視点を基本に「健康なまちづくり」を、住民参加により推進するため、日夜格闘しています。なんて本当は、自ら積極的に挑戦しているのですが・・・。

それでは、今まで取り組んできたことや学んだことの一端を実践者の立場から簡単に紹介します。

スタートは、平成9年度に企画課内に健康文化都市推進班が新設され、配属になったことからです。ここでは、ヘルスプロモーションをまちづくりという観点から包括的に「健康文化都市」として位置付け、計画推進することが業務でした。そこで、最初に取り組んだことは、基本構想の将来都市像を「健康文化都市」にしたことです。次に「健康文化都市」を具現化するための指針として、国の健康文化都市のモデル指定を受けて、分野間協力と住民参加の下に「健康文化都市プラン」を策定したとともに健康

文化都市の実現度評価システムを構築しました。

また、ヘルスプロモーションや健康文化都市の理念、概要を職員や市民に広めるため、「職員研修会」「健康文化都市大学」を開催して、多くの理解者や協力者を得て、実践活動への足がかりとなっています。

平成13年度からは、健康課内に新設した健康づくり推進班で、より具体的にヘルスプロモーション活動を推進するため、栄養士、保健師などと一緒に普及実践活動を展開しました。この活動を通して健康づくりには、個人の努力も大切ですが、コミュニケーションやひととひととのふれあい、そしてコミュニティの重要性を実感しました。それ以来、私はコミュニティを基本にした健康づくりを提案しています。

本年4月からは秘書課に異動になり、ヘルスプロモーションとは無縁かと思われましたが、ヘルスプロモーション活動で学んだ知識や経験は、今の業務にも大いに活かされています。

私は、このようなヘルスプロモーションを会員等の皆さんと共に、考え、実践しながら広めて行きたいと思います。

第3回学術大会へおこしください

- 【日程】平成17年11月19日(土)・20日(日)
【会場】北九州国際会議場 2F「国際会議室」
〒802-0001 福岡県北九州市小倉北区浅野3-9-30 (JR小倉駅北口徒歩7分)
【大会長】中村 修一(九州歯科大学国際交流・協力室長)
【大会事務局】〒803-8580 福岡県北九州市小倉北区真鶴2-6-1
九州歯科大学国際交流・協力室(担当:辻澤)
TEL:093-582-1131 内6632
FAX:093-582-8288
mail:motoyama@kyu-dent.ac.jp

皆さまのおしをおまちしております。

特集

「わたしたち、こんな活動してはす」～会員の声～

ADVOCATE では、年 4 回という限られた発行回数の中で、できる限り会員の皆さま同士の情報交換を深めていただけるような場づくりを目指しております。どんな小さな活動・ところざしでも、それがネットワーク化されることで、日本ヘルスプロモーション学会という組織の原動力にもつながります。

今回、そんな小さな思いを抱いていらっしゃる二つの取り組みをご紹介します。

風と木の会 (宮崎県宮崎市)

健康を考える会「風と木の会」を開催して1年が過ぎました。この会を始めようと思ったのが、島内先生が我が家に来られた時にこの家そのものがヘルスプロモーションだよと言って下さったのがそもそものきっかけでした。開催するに当たっても、企画を練り上げてという感じではなく、「こんな会がしたいよね。」という思い先行がいつの間にかこのような会になりました。陶芸家から始まり倫理、ゴスペル、整体、旬の食材、など様々なキーワードで健康を話していただいています。三十分程度の講和で無理なく楽しくをモットーにしています。聞く方も大事ですが、実は話す側も健康と結び付けて話していただくので健康と自分の係わり合いを再認識していただくという、両方学びがあるという面白い企画になりました。

もう一つ報告したいことは、囲炉裏を囲んでゆっくりという時間も大切にしています。ただ話を聞くだけでは満足感がないので食事の充実を図っています。美味しい料理ではなく心こもった、おもてなしの心を再現しようとしているところです。今は三人で食材会議を開いていますが、旬の食材から、今作りたいたい料理を出し合いながらその時間も楽しんでいれる事がこの会の良さかなと思います。

私一人の心でなく三人の心、五人の心、七人の心がこの会を継続してくれている、実感できるところが「風と木の会」を本物にしてくれるような気がします。無理をせず、楽しみながら、人数にとられない継続をしたいと思っています。

ホームページも参加者がボランティアで製作、管理していただいています。

<http://www.kazetoki.org/pc/>

(加藤 優二)



代表の加藤優二氏。

これまでの活動回数は、計 12 回にも及び、毎回『宮崎日日新聞』に掲載されるほどの盛況ぶり。



印旛ヘルスプロモーションネットワーク (千葉県印旛郡)

佐倉 順天堂大学のお膝元の千葉県印旛郡には「健康なまちづくり」を掲げて活動している三つのグループがあり、どのグループも地域ごとに島内会長の講座を受講した人たちが自主的に起こしました。白井市：夢ふれあいサークル、印旛村：ボレボレ印旛、そして私も参加している酒々井町：サークル 酒・和・花 しずい(さわやかしずい)です。活動年数、内容は異なりますが独自性を大切に地域に根ざした活動をしています。平成 16 年秋の「第 4 回健康なまちづくりネットワーク会議 in 印旛」を期に各グループとの交流をしようとの呼びかけをして「印旛ヘルスプロモーションネットワーク」をつなげて行くことになりました。第一弾として平成 17 年 5 月 22 日にバーベキューパーティを酒々井町のハーブガーデンにて行うことになりました。当日は、好天に恵まれ 50 人の参加者と島内会長、田中、高村両理事も迎え盛大に開催することができました。グループ自慢の料理を持ち寄り、舌鼓を打ちながら、各グループ、自己紹介をしました。ハーモニカ、ギター、歌あり、お互いの活動に対する熱い思いを語り合うことができました。



まず始めに、仕掛け人(しずい)からのご挨拶。

人々のハッピーファクターは小さなことから見つけるのがスタート、宴が盛り上がるほど人の心をつなごうとする輪が明確に存在し、充実感があることが理解できました。地域活動に必要なのは、天に花開く花火のように仕込み時間がかかっても、ヘルスプロモーションの大輪を見たいという人たちの心のホシを一つ一つ詰めることなのかもしれません。

(尾形 聡)

BBQ を囲みながら、テント前で各サークルの情報交換会です。



まず始めに、仕掛け人(しずい)からのご挨拶。

会員の声

～移動しました～

(社)全国保健センター連合会企画部企画研究室 村中峯子



今年の3月に晴れて(!?)大学院を卒業し、正式に本職に就きました。全国保健センター連合会は、市町村自治体さんに会員さんになっていただき、その地域保健活動を支援する社団法人です。具体的には、全国市町村保健センターの調査研究を初め、情報の提供や研修事業の実施、各種パンフレットの無料配付、母子保健指導車の助成やプレイコーナー備品の配付、保険事業など、さまざまな角度から地域保健活動を支援することを目的としています。また、市町村保健活動のおかれている実態を多くの方に知っていただくのも役割の一つと強く実感しているところです。今年の3月にまとめた「市町村保健センターのあり方」に関する報告書は、各方面から問い合わせをいただき関心の高さに驚いています。(入手ご希望の方は、お問い合わせください。TEL: 03-3269-4748)

ヘルスプロモーションは企業、学校、など社会におけるすべてを「場」とし、社会全体を包含する広い概念と理解していますが、地域保健活動においては保健所と共に市町村保健センターもその実践と展開の重要な拠点の一つと考えています。

そのためにも、島内先生を初め「永久少年少女の会」、あれ、違った!? あっ、そうそう、そうでした(ごめんなさい!)、「日本ヘルスプロモーション学会」で、勉強させていただきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいいたします。

連載

NORIE

ヘルスプロモーター・ツーリズム

会員 田口 師永

昼間は暖かさを感じるものだから、どうにも季節感があまりない。それでもまずいぶんと朝晩の冷え込みは厳しくなり、確実に冬に足を踏み入れているのだと感じる。そう、ここは南半球。号が変わる時にはすでに次の街。今回はアデレードからのお便りを。
高い建物がないわけではないが、高いと感じる建物がない。その分空が近い。それがこの街アデレードの最初の印象だった。街の作り方は非常にクリアな感じがする。そして分りやすい。テントは郊外の公園に建てられ、それこそ周りには何もなし。そこでもやはり空が近いと感じる。特に夕日がよく空に映えている。気がつけばよく空を見上げています。空を見ると気持ちよく落ち着く。都会の雑踏の中では上を見上げることもない。前を向いていなければ、そんな思いのほうが強いの気がする。ふと立ち止まって気兼ねなく空を見上げることができる雰囲気を持つこの街は、ある種のやさしさを含んでいるのかもしれない。

田口師永 たくちのりひさ 国際的エンターテインメント



ヘンリービーチの夕日

一口メモ 田口さんが今回ツアーで訪れたアデレードは、第2回ヘルスプロモーション国際会議(1988年)が開催された都市でもあります。このとき、健康的な公共政策づくりに関する『アデレード勧告』が出されました。

この夏、どこで過ごしていますか？

夏休みのご予定は? 「わたしは仕事で手一杯!!」というあなた、それも『予定』のひとつですよ。ADVOCATEでは、皆さまの夏の楽しい・辛い・充実した・暇な・体験談をお待ちしています! 田口さんのように世界旅行はできなくても、ご自身の身近な 素敵! をご紹介いただけませんか?

選挙が告示されます

会員の皆さまへ投票のお願い

今年度、日本ヘルスプロモーション学会は、平成14年の発足以来、初の役員選挙をむかえることとなりました。詳細は、選挙管理委員会よりお知らせいたしますが、ここに大まかな日程を記載させていただきます。会員の皆さまのご参加をお願い申し上げます。

評議員選挙	平成17年8月
理事選挙	平成17年9月
常任理事選挙	平成17年10月
会長・副会長選挙	平成17年10月

「ヘルスプロモーション国際シンポジウムinさくら」

日本ヘルスプロモーション学会は後援します

来る10月22 - 23日に行われる「ヘルスプロモーション国際シンポジウム in さくら ~ Health for all すべての人に健康を ~」では、当学会も後援団体として参加しています。会員の皆さまもふるってご参加ください。

記

日程 平成17年10月22日(土)・23日(日)
場所 ウィシュトンホテルユーカリ

(千葉県佐倉市 京成電鉄ユーカリが丘駅目の前)

連絡先 佐倉市健康増進課(043-485-6711)
概要 ヘルスプロモーション概念の産みの親であるWHO(世界保健機関)の元ヘルスプロモーション部長のイローナ・キックブッシュ博士(エール大学教授)や、その理論に基づいたまちづくりに取り組む市町村のかたを迎え、最新のヘルスプロモーション理論の講義や実践状況の報告などを行います。(以上『こうほう佐倉』No.973を参考にさせていただきました。)

以上

「個人情報保護法」

会員データは守られています

国内における個人情報保護のために、事業者に対する個人情報保護の義務を規定した法律「個人情報保護法」が2005年4月1日より全面施行されました。当学会では、会員のみなさまが入会手続きをとられる際に、入会申込書への個人情報等の記入をお願いしておりますが、その際、一般会員への情報公開の一貫である会員名簿への記載の有無をお尋ねしており、万が一のトラブル回避にむけて努力しております。しかしながら、名簿が会員同士の交流を兼ねて作成されている現状を考慮すると個人情報の保護にも限界があります。

つきましては、会員名簿等の取り扱いにつきましては、会員のみなさまへ再度良識あるご利用をお願い申し上げます。

また、会の運営に際し、お気づきの点がございましたら、事務局までご一報くださいますようお願い申し上げます。

事務局よりお知らせ

事務局業務をお手伝いしていただいております

現在、当学会事務局は順天堂大学にオフィスをかまえておりますが、5月10日に千葉県佐倉市にオープンされた順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター(WHO指定研究協力機関)ユーカリが丘支局にも一部業務をお手伝いしていただくことになりました。

これまでの学会事務局も今までどおり運営しておりますが、万が一TEL等で留守の場合は、同オフィスでもご連絡を受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

順天堂大学ヘルスプロモーション・リサーチ・センター：ユーカリが丘支局の連絡先

043(489)9091

(担当：橋本・高村)

「会員の声」を募集しています!

身の回りの活動、日頃思うこと、ニュースレターに対するご意見、学会に対するご意見等、何でも結構です。

jimukyoku@jshp.net

編集後記 人生史上初の冒険(?)に挑んでいます。ワクワクする反面思い通りにいかないこともあります。そんな気まぐれさに愛着がわいたりもします。しばし鳥の気持ちになんて可愛い卵を温めてみようと思います。これぞヘルスプロモーションの真髄「バズ・アイ」を実感している今日この頃です。(助友)

©本印刷物の無断転載を禁じます。

トピックス

Vol.6

ヘルスプロモーション グlossary

11. 健康な選択ほど簡単(Healthier choice, easier choice): ヘルスプロモーションのためのスローガンである。これは、ハードとソフトのバランスにかかっている。(Kickbusch 1994)
12. 第3の公衆衛生革命(Third public health revolution): カリフォルニア大学教授のプレスロー博士が「ヘルスプロモーションは第3の公衆衛生革命である」と提唱。(Breslow 1999) ちなみに、第1の革命は感染症対策、第2の革命は慢性疾患対策であった。(Terris 1985)